

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄住民の権利拡大
大（琉球行政主席等の任期延長）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43446

天竺要領

在降中 別紙 記事 第(第)の
うへに 益を 記事 第(第)の

あり。

第

国会

本

会

議

(質問者)

月 日

参 衆 予 外 内 委 員 会

()

(起立)

外務省

問 今回米園政府は、行政主席及び立法院議員の

任期を復帰日本に延長するたが、大統領の

命令を改正し、理由があるが、政府は米園の

所、有措置をどう考之るか。

参衆

問

アメリカ局長
参事官
条約課長

(追加想定)

第 国会 本 会 議 (質問者)
参 予 外 内 委 員 会

外務省

問 政府は今回の行政主席等、任期延長のため
米側おとりの措置に付して、米政府から
事前の協議を乞うたか。

11/22/40 (23)

参 問

答 今回米政府の今回の措置は、本年十月末に任期満了となる行政主席及び立法院議員に付して、統帥政府立法院の決議及び沖縄住民の民意に於いて、その任期を復帰日まで延長することといたるものあり。政府としても明年の復帰を控へ、よ小基の短期間のため、行政主席等の選挙を行なうことは、乍らも実務的と言ひ得るに而もあると思われり。今回の措置は、^時前直に達したものと考へるに付あり。

参 問

外務省

答 琉球政府行政主席及び立法院議員の任期延長
問題は、元来米國政府が琉球政府の意向も考
慮に入れぬ決定すべき問題であり、日本政府
が米國政府と協議決定すべき問題では
ない。

—か—ながら、實際問題として、政府は、本年
三月立法院にかける決議及び行政主席の
要請書簽名をなす後、米側より非公式

参衆
問

に米側の本件措置に與する意向に付して直報を
受て、その際、他政権の円滑な移転を望む見
地から、政府としても米側の沖縄住民の意向に
沿つた措置がとられることを期待するところ
と解を非公式に説明した経緯がある。(但し、
右の協議とリフの性格も同じではない。)

参衆
問